Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

SSS28-P21 会場:コンベンションホール 時間:5 月 27 日 18:15-19:30

# 小倉東断層延長海域における高分解能マルチチャンネル音波探査
# High-resolution Multi-Channel Sonic survey on the seaward extension of the Kokura-Higashi Faults

楮原 京子 [1*] ; 吉岡 敏和 [2] ; 加藤 勲 [3] ; 半場 康弘 [3]
KAGOHARA, Kyoko[1*] ; YOSHIOKA, Toshikazu[2] ; KATO, Isamu[3] ; HAMBA, Yasuhiro[3]

[1] 山口大学, [2] 産総研 活断層・火山研究部門, [3] 川崎地質 (株)
[1]Yamaguchi Univ., [2]IEVG, AIST, [3]Kawasaki Geological Engineering Co. Ltd.

小倉東断層は福岡県北九州市小倉北区から北九州市小倉南区にかけて分布する北北東-南南西方向に延びる右横ずれ断層である．地震調査推進本部（2013）の評価において，小倉東断層の地表で確認される長さは約 13 km であるが，重力異常の急変帯がさらに北方へと続くことから，小倉東断層の北方延長が彦島沖，響灘へと連続する可能性が指摘された．そこで，本調査では小倉東断層の北方延長とされる響灘において，活断層の存在や地質構造を確かめるために高分解能マルチチャンネル音波探査を実施した．測線は重力異常で推定された断層を横断するような東西測線を 19 本，それらをつなぐ南北測線を 2 本設定した．調査は電磁誘導型音源 (ブーマー) を 2.5m 間隔で発振し，チャンネル間隔 2.5m，12 チャンネルのストリーマーケーブルで受振した．データ収録時間は 0.4 秒，サンプリング周波数は 8000Hz とした．取得されたデータの解析は CMP 重合法を用いた．その結果，極浅層を変形させる断層が彦島の沖合に少なくとも 2 条，存在していることが明らかとなった．なお，この断層が小倉東断層と直接連続するかについては関門海峡周辺の地質構造と照らし合わせながら議論する必要がある．

キーワード: 小倉東断層, マルチチャンネル音波探査, 横ずれ断層, 響灘
Keywords: Kokura-Higashi Faults, multi-channel sonic survey, strike-slip fault, Hibiki-nada